

<真剣味>96

2020. 1. 29

<継続が成長に！>

久しぶりのブログになります。十分に休ませて頂きましたので、これからまた定期的に、思ったことを書いていきたいと思います。

今年の練習始まりは令和2年1月5日（日）の安全祈願（白山神社）、そしてビニールハウスに移動しての練習からスタートでした。この日が私の7年目の監督の始まりです。

過去6年、いろいろと学びながらシニアの練習・試合に取り組んできました。選手たちの頑張り、コーチの熱い指導により、少しずつ成果として表れてきています。そして7年目を迎え、今までにないチーム「目標」を立てました。目標達成の為、1試合目・1イニング・1人目の打者・そして1球目を意識しながら、どの大会もまずは初戦突破を心掛け臨みたいと思います。それがクリヤーできることがすべての始まりです。

<気候がおかしい今年の冬>

このチームは酷暑の中でのフレッシュマン大会で勝つことができ、その後どのように成長していくのか監督自身が楽しみにしていました。ただ季節が変わり気候が穏やかになるごとに、成績も振るわなくなりました。選手は何とかなる、などとは思っていませんが、成績には繋がりませんでした。バッティングは良いが守備が少し不安、また普段はいいボールを投げる投手が、ここ一番でのコントロールが不安、などそれぞれの課題ははっきりしています。

この冬はそれぞれの課題をクリヤーすることとチームとしての盛り上げを意識して練習していきたいと考えています。

例年の冬はビニールハウスで午前も午後もみっちり基礎的な練習になるはずですが、今年は気候がおかしく、もう何度もグラウンドに出られています。ボールに慣れることは良いのですがいつもやれている基礎的なトレーニングやバットを黙々と振る時間が不足しているように思われます。しかしこれをどこかでカバーしない限り、次のステップにはいきけません。情熱でやりきるしかありません！この気候はインド洋の海面温度の上昇が関わっているらしいです。

<成長しつつある選手>

○選手宣誓……リーダーを中心に話し合い、以前よりメリハリのある、また心のこもった言葉になっている。是非継続してもらいたい。

○練習環境を自分達で管理している。（ゴミ拾い、道具の管理・維持など）

○練習メニューを指導者に提案もしている。

○とにかく練習にマイナスなことがあれば、直ちに全体に集合をかけ、リーダーから確認事項を伝えている。

<変化>

・けが人の中で、練習中に何をやったらいいですか！と聞く人もいましたが、今は自分から「これをやっていいですか」と自分の課題・必要なトレーニングが分かってきている人が増えてきている。

・ビニールハウスでのトレーニングの際、整地が必要な時にケガ人の中から自らトンボを持って直ぐに整地に動く選手がいました。Goodです。今何が必要かよく理解した行動でした。

<新入団選手>…勇気ある決断ありがとうございます。小学生6年生が自分の方向を決めるといのは本当に大変で難しいことだと思います。だから余計に有難く思います。「現時点では8名」の勇気ある仲間が一生懸命練習しています。そして彼らは丁寧で、気持ちの良い挨拶をしてくれます。それは所属していたチームの指導が素晴らしいということだと思います。さらに引き継いでいきたいと考えております。今の時期は焦ることなく、まずは身体づくり、ボール・バットの重さに慣れてもらう事、それと基本動作の習得に努力してもらいたい。

また、これから硬式野球をやりたい、でもどこのチームが自分に合っているのか！と、もし悩んでいる人がいれば、一度うちのチームの練習を体験してみてください。マイナスは絶対ないと思います。